

第 372 回 昭和の森自然観察会

春の花

八木千里（千葉市）

日 時：2023 年 4 月 9 日（日）10 時～12 時 天候：晴れ

参加者：24 名（大人 19 名 子ども 5 名）、見学者：2 名、事務所：1 名、

担当指導員：佐藤（一）・八木、参加指導員：6 名

いつも野の花をメインに観察会をしていましたが、今年は木の花を取り入れてみようとの佐藤さんの提案で沢山の木の花を観察した。

コースは東屋～冒険広場～市町村の森～階段を下りて菖蒲田まで。帰りはローラー滑り台脇を登って東屋へ。

花は開くかしらと心配したが、始まるころには気温も上がりほっとして出発した。

観察した植物；①イヌシデ：落ちていた雄花と房になり始めた雌花の観察。②ハナミズキ：満開でも 1 つずつの花は小さくてやっと苞の中を観察した。③ツバキ：早春から咲く花にはメジロやムクドリが甘い蜜を吸いに来る。ツバキは鳥媒花。④マツ：クロマツを手のひらで触って痛さを感じてもらった。当日は赤い雌花も出ていて、小さなマツボックリもありマツの説明がよくできた。⑤モミジ：葉の下に赤い花が沢山の事実に気が付かなかったとの声があがり花の説明。種のプロペラは 5 ミリほどのものが 1 つあったので皆で夢中になって見た。⑥アオキの雄の木と雌の木が隣どうしにあり 雄花と雌花の観察がうまくできた。

その他の植物：ヒメスミレ、タチツボスミレ、ツルカノコソウ、ムラサキケマン、シュンラン、ウマノアシガタ、ニオイスマスミレ等々

タンポポクイズは毎年楽しく出来、綿毛をばらして 1 つの花を確認した。ウラシマソウの説明と雄株の穴を全員に見てもらえた。

参加者：木の花に雌雄がこんなにあるので驚いた。木の花は大変好評でした。



ウラシマソウの雄株の出口の穴を確認



小さなシデの形を見て感激しました